

くじゅう黒岳地域の自然景観

森が水をため、水が森を育てる黒岳

全山森におおわれた黒岳

黒岳は、くじゅう山群の中で全山がうっそうとした森におおわれた唯一の山です。山麓^{ろく}のクヌギ、コナラの雑木林、山腹から山頂近くにかけてのブナ・シラキ林、岩角地のコミネカエデ・ナナカマド林や谷に発達するオヒョウ林は黒岳の森を代表する自然林とされています。



全山夏緑林の黒岳



大地に根を張るブナの株

岩石の隙間^{すき}から湧き出る水

降った雨のほとんどは森にしみこみ、長い時間をかけて森を育て、地中で得たミネラル分を含んだまろやかな口あたりのよい水となって、岩石の隙間などから湧き出ています。



男池湧水群の上限かくし水



男池滝

清流・冷水の流れる阿蘇野川

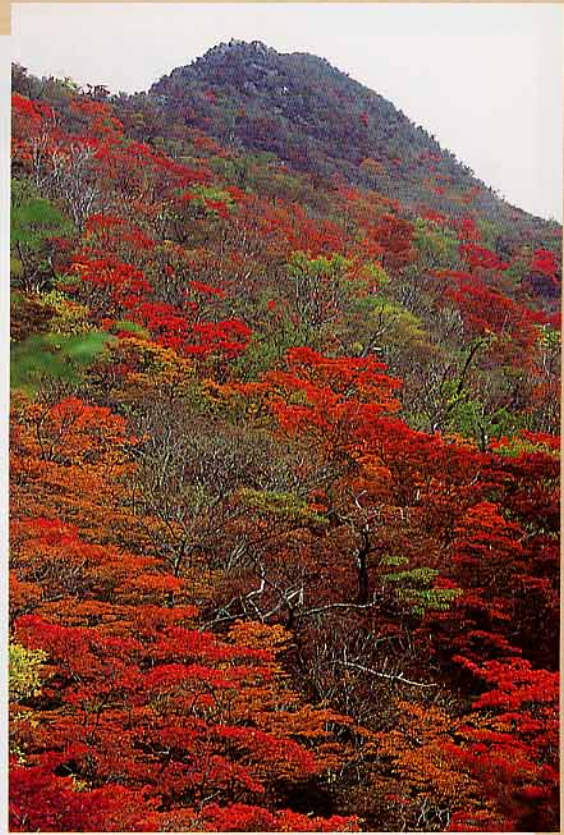
黒岳の湧水群を水源とする阿蘇野川は、清流・冷水で知られています。特に男池湧水群の付近は雨天時でも濁ることなく、水量の変化もほとんどみられません。これは黒岳の森がいつも降水量の調整をしているからといわれています。

四季を彩る黒岳の森



森をおおうブナの巨樹（夏）

庄内町阿蘇野から見るとお
 碗^{わん}を伏せたような形に、南の
 久住町からではお多福^{たふく}の面を
 仰向けにしたような形に見え
 る黒岳は、他のくじゅう山群
 と違って全山が落葉広葉樹の
 森におおわれ、季節ごとに彩
 りを変えます。



紅葉のカエデの森（秋）



久住町仏原から望む大船山（左）と黒岳（右）



庄内町阿蘇野から望む黒岳



芽生えのバイケイソウ（春）

春は麓から始まる萌え出る新
 緑、夏は濃い緑一色の全山、秋
 は頂上から下りてくる紅葉の鮮
 やかさ、冬は落葉した静かな林
 間に垣間みる根雪の白さなど、
 黒岳の森が四季を通じて織りな
 す多彩な風景は、ここに住み慣
 れた人にとっても、訪れる人にと
 っても、心の和む魅力ある原
 風景の山として親しまれていま
 す。



落葉の雑木林（冬）